

特定施設及び除害施設に係る  
別紙記入要領及び記入例

排水処理施設設置事業場用  
薬品による処理（例：電気めっき業）

※記入について不明な点等ありましたら、所管の下水道事務所にお問合せください。  
なお、届出の際には、当局から追記・修正をお願いする場合があります。

## 届出別紙記入要領及び記入例

### 目次

- p.1・・・ 1. 工場又は事業場の概要 特定施設の構造及び使用の方法
- (1) 工場又は事業場の規模等
  - (2) 主要製品名及び生産量
  - (3) 操業の系統（作業工程フローシート）
- p.2・・・ (4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料
- (5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関連する  
機械・装置の配置（別添図）
- p.3・・・ (6) 特定施設等から排出される汚水等の汚染状態
- p.4・・・ 2. 除害施設の構造及び使用の方法 汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統
- (1) 汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明
- P.5・・・ (2) 処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材
- (3) 処理施設の設置場所及び配置（別添図）
- p.6・・・ (4) 処理施設別、汚水量及び水質
- p.7・・・ (5) 汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等
- (6) 施設の建設費等
  - (7) 使用水量
- p.8・・・ (8) 用水及び排水の系統（別添図）
- (9) 公共下水道へ排除する下水の量及び水質

### 1. 工場又は事業場の概要 特定施設の構造及び使用の方法

#### (1) 工場又は事業場の規模等

- |              |  |
|--------------|--|
| ア 業種         | 事業場で行う業務について、日本標準産業分類を参考に記入してください。   |
| イ 当該事業場創業年月日 | 当該事業場で事業を始める年月日（当該事業場の実際の稼働年月日）を記入してください。  |
| ウ 操業時間       | 操業開始時刻と操業終了時刻を記入してください。<br>又、操業時間（休息、休憩時間を含む。）については（ ）内に記入してください。                        |
| エ 資本金        | 単位は「万円」で記入してください。<br>なお、個人事業の場合は「個人」と記入してください。   |
| オ 従業員数       | 届出の対象となっている事業場の従業員数（パート及びアルバイトを含む。）を記入してください。<br>なお、他に本社や事業場等がある場合は、（ ）内に全従業員数を記入してください。 |
| カ 休業日        | 例えば「日・祝日」、「月・第四木曜日」のように記入してください。   |
| キ 水質管理責任者    | 有資格者を水質管理責任者として選任し、届出書を提出している場合に記入してください。  |

#### (2) 以下、次頁以降の記入例を参考に記入してください。

※下水道局からこの別紙の他に必要な添付書類（図面、カタログ等）の提出を求められた場合は、御協力いただきますようお願いいたします。

別紙記入例（排水処理施設設置事業場（例：電気めっき業））

第2号様式

工場又は事業場の概要

1. 特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

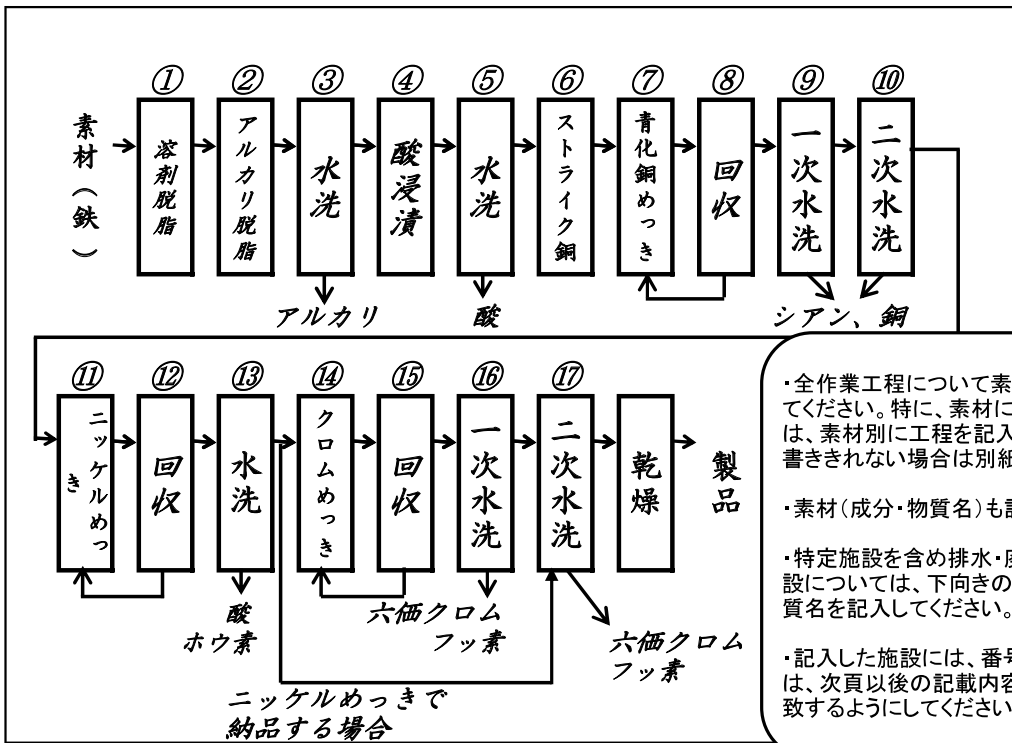
業種	電気めっき業	資本金	1,000万円	敷地面積	300 m <sup>2</sup>
当該事業場 創業年月日	平成 27年7月1日	従業員数	15 (20)人	作業場面積	100 m <sup>2</sup>
操業時間	8時～17時 (9時間)	休業日	土、日、祝日	水質管理 責任者	下水 一郎

(2) 主要製品名及び生産量

自動車部品のめっき（銅-ニッケル-クロムめっき）  
・ホイール、バンパー 100kg/日（稼働日数 約22日/月）

・(2)には、主たる業務内容を記入してください。  
・生産量は金額ではなく物量単位とし、日または月の平均で記入してください。季節変動がある場合はその旨を記入してください。

(3) 操業の系統（作業工程フローシート）



・全作業工程について素材から仕上げまで図示してください。特に、素材により工程が異なる場合は、素材別に工程を記入してください。書ききれない場合は別紙としても構いません。  
・素材(成分・物質名)も記載してください。  
・特定施設を含め排水・廃液を排出する全ての施設については、下向き矢印により排出される物質名を記入してください。  
・記入した施設には、番号をつけてください。番号は、次頁以後の記載内容及び添付した図面と一致するようにしてください。

(4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	①	②	③	④	⑤	⑥
施設の名称	溶剤脱脂槽	アルカリ脱脂槽	アルカリ脱脂水洗槽	酸浸漬槽	酸洗水洗槽	ストライク銅めっき槽
形式	静止式	静止式	3段向流水洗式	静止式	3段向流水洗式	静止式
構造	ステンレス製	塩ビ製	塩ビ製	FRP製	FRP製	鉄製塩ビライニング
主要寸法	縦・横・高さ 80×60×100	80×60×100	80×60×100	80×60×100	80×60×100	80×80×100
能力	400 リットル	430 リットル	430 リットル	430 リットル	430 リットル	580 リットル
工事着手 (予定)年月日	平成27年 6月1日	同左	同左	同左	同左	同左
工事完成 (予定)年月日	平成27年 6月20日	同左	同左	同左	同左	同左
使用開始 (予定)年月日	平成27年 7月1日	同左	同左	同左	同左	同左
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	連続 8時間	同左	同左	同左	同左	同左
季節変動の概要	なし	なし	なし	なし	なし	なし
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	トリクロロエチレン 1週あたり 5~10L (蒸発分を 注ぎ足し)	オルトケイ酸ナトリウム 30kg/月 炭酸ナトリウム 2kg/月	最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	硫酸 30kg/月	最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	シアン化銅 20kg/月 シアン化ナトリウム 30kg/月 ロッセル塩 5kg/月 光沢剤 5kg/月
その他		1か月に1回更新		3か月に1回更新		

・特定施設のみでなく、排水・廃液を排出する施設について、名称と施設番号を記入してください。ただし、トイレや事務室の手洗い場など、生活排水のみが排出される施設については、記入は不要です。

・施設番号は前ページの作業工程フローシートに記入した番号及び添付図と一致するようにしてください。

・形式は施設の型式・品番等または「水洗式」「回転式」等と記入してください。

・構造は「ステンレス製」「塩ビ製」等と記入してください。また、可能な限り構造図(断面図)やカタログ・諸元表等を添付してください。

・季節変動がある場合はその旨を記入してください。

・使用する原材料や薬品の名称・量を記入してください。

・排水に関してほかに情報がある場合は、「その他」欄に記入してください。(例 めっき浴の更新頻度)

・休止中の場合は「その他」にその旨を記載してください。

(5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関する機械・装置の配置 別添第(1)図のとおり

・工場又は事業場全体の平面図に、特定施設及びその他の排水が出る施設の設置場所を明示して提出してください。特定施設等には(4)の施設番号と対応した番号をつけてください。

## (4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
施設の名称	青化銅めっき槽	回収槽(銅)	銅めっき一次水洗槽	銅めっき二次水洗槽	ニッケルめっき槽	回収槽(ニッケル)
形式	静止式	静止式	3段向流水洗式	3段向流水洗式	静止式	静止式
構造	鉄製塩ビライニング	鉄製塩ビライニング	塩ビ製	塩ビ製	鉄製塩ビライニング	鉄製塩ビライニング
主要寸法	80×200×100	80×60×100	80×60×100	80×60×100	80×200×100	80×60×100
能力	1,400リットル	430リットル	430リットル	430リットル	1,400リットル	430リットル
工事着手(予定)年月日	同左	同左	同左	同左	同左	同左
工事完成(予定)年月日	同左	同左	同左	同左	同左	同左
使用開始(予定)年月日	同左	同左	同左	同左	同左	同左
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	同左	同左	同左	同左	同左	同左
季節変動の概要	なし	なし	なし	なし	なし	なし
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	シアン化銅 30kg/月 シアン化ナトリウム 40kg/月 ロダン カリウム 5kg/月 ロッセル塩 10kg/月 光沢剤 5kg/月		最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	硫酸ニッケル 30kg/月 塩化ニッケル 5kg/月 ホウ酸 3kg/月	
その他						

## (5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関連する機械・装置の配置 別添第(1)図のとおり

## (4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
施設の名称	ニッケルめっき水洗槽	クロムめっき槽	回収槽(クロム)	クロムめっき一次水洗槽	クロムめっき二次水洗槽	
形式	3段向流水洗式	静止式	静止式	3段向流水洗式	3段向流水洗式	
構造	塩ビ製	鉄製塩ビライニング	鉄製塩ビライニング	塩ビ製	塩ビ製	
主要寸法	80×60×100	80×60×100	80×60×100	80×60×100	80×60×100	
能力	430リットル	430リットル	430リットル	430リットル	430リットル	
工事着手(予定)年月日	同左	同左	同左	同左	同左	
工事完成(予定)年月日	同左	同左	同左	同左	同左	
使用開始(予定)年月日	同左	同左	同左	同左	同左	
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	同左	同左	同左	同左	同左	
季節変動の概要	なし	なし	なし	なし	なし	
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	クロム酸 15kg/月 ケイフッ化ナトリウム 1kg/月 硫酸 1kg/月		最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	最終槽(第三水洗槽)から給水、第一水洗槽から排水	
その他						

## (5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関する機械・装置の配置 別添第(1)図のとおり

(6) 特定施設等から排出される汚水等の汚染状態

施設の種類		③ アルカリ脱脂水洗槽	⑤ 酸洗水洗槽	⑨ 銅めっき一次水洗槽	⑩ 銅めっき二次水洗槽	⑬ ニッケルめっき水洗槽	⑯ クロムめっき一次水洗槽	
汚水量	通常	1.5	1.5	2	2	1	2	
(m <sup>3</sup> /日)	最大	2	2	2.5	2.5	1.5	2.5	
水質	pH	通常	10	4	9	8	6	4
		最大	11	3	10	9	5	3
	シアン	通常			150	20		
		最大			200	30		
	総クロム	通常						200
		最大						250
	六価クロム	通常						200
		最大						250
	銅	通常			150	20		
		最大			200	30		
	トリクロロエチレン	通常	0					
		最大	0.1					
	ホウ素	通常					5	
		最大					10	
	フッ素	通常						15
		最大						20
	通常							
	最大							
	通常							
	最大							
	通常							
	最大							

・排水のする施設について記載してください。施設の名称は2頁(4)と同じとし、2頁の施設番号も記入してください。

・記載の順番は、分りやすいように作業のラインごとに並べるようにしてください(施設の番号順でなくてもかまいません)。

・「通常」の欄には1日の平均排水量(水質)を記入してください。変動がある場合には「最大」の欄に1日の最大排水量(最大濃度の水質)も記入してください。

・「水質」の欄には、下水排除基準表から、排出される可能性のある水質項目と濃度をすべて記入してください。

(6) 特定施設等から排出される汚水等の汚染状態

施設 の 名 称		⑩ クロムめっき 二次水洗槽					
汚水量	通常	2					
(m <sup>3</sup> / 日)	最大	2.5					
水 質	pH	通常	5				
		最大	4				
	シアン	通常					
		最大					
	総クロム	通常	10				
		最大	15				
	六価クロム	通常	10				
		最大	15				
	銅	通常					
		最大					
	トリクロロエチレン	通常					
		最大					
	ホウ素	通常					
		最大					
	フッ素	通常	5				
		最大	10				
		通常					
		最大					
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						



2.

汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統

(1) 汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明

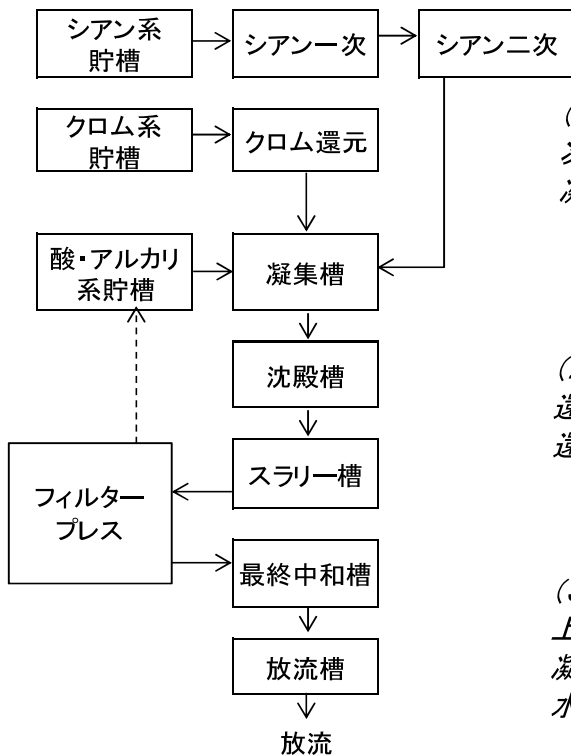
- ・排水処理の経路図は、別添第1図のとおり。
- ・排水処理の平面図は、別添第2図のとおり。
- ・排水処理の詳細なフローシート及び各槽の概要は、別添第3図のとおり。

・汚水等の処理工程を、付属機器類・槽の有効容量を含めて全て記載してください。書ききれない場合は別添としてください。

・汚水等の処理方法については、処理条件も含めて詳細がわかるように記入してください。

●汚水等の処理の説明

シアン系、クロム系、酸・アルカリ系の貯槽及びスラリー槽には、レベル計が設置されている。そのレベル計の指示により、ポンプで汲み上げられた排水を、次の工程に従って処理する。



(1)シアン(酸化分解)

次亜塩素酸ナトリウムにより酸化分解を行った後、凝集槽へ送る。

- 処理条件 ①1次 pH 10.5以上、ORP 300mV以上  
2次 pH 7~8、ORP 650mV以上  
②滞留時間 1次・2次ともに約1時間

(2)六価クロム(還元処理)

還元槽で重亜硫酸ナトリウムによって還元を行った後、凝集槽へ送る

- 処理条件 ①還元槽 pH 2.5、ORP 300mV  
②滞留時間 20分

(3)重金属(酸・アルカリ系)(凝集沈殿)

上記(1)・(2)からの排水とともに、凝集槽で水酸化ナトリウムを注入し、水酸化物にしてスラリー槽で一旦貯留する。

- 処理条件 ①凝集槽 pH 9.5~10.5  
②滞留時間 30分

(4)水酸化物(汚泥)(全量ろ過)

スラリー槽のレベル計の指示により排水をフィルタープレスに送り、全量ろ過する。ろ液は最終中和槽に送る。フィルタープレスの初期ろ液は酸アルカリ系貯槽へ返送する。

(5)pH(最終中和)

全量ろ過されたろ液を最終中和槽で中和し、放流槽・ピットを経て公ます②から下水道へ放流する。

- 処理条件 ①最終中和槽 pH 6.5~8.0  
②滞留時間 20分

(2) 処理施設の種類の種類、構造、使用時間及び消耗資材

処理施設の名 称	シアン系	クロム系	酸アルカリ系	汚泥系	
形 式	連続自動式	連続自動式	連続自動式	連続自動式	<p>・汚水の系統別または処理施設ごとに記入してください。汚泥の処理工程(濃縮・脱水等)がある場合は、別に「汚泥系」としてください。</p> <p>・形式には「連続自動式」「回分式」などと記入してください。</p> <p>・構造には処理施設の主要部分の材質を記入してください。 (例、コンクリート製)</p> <p>・付属機器類は仕様やカタログ等を添付してください。</p> <p>・処理の方式には排水処理の方法を記入してください。 (例、凝集沈殿法、中和法、還元法など)</p> <p>・書ききれない場合は別紙として資料を添付してください。</p>
構 造	鉄製塩ビライニング	鉄製塩ビライニング	鉄製塩ビライニング	コンクリート製	
主要寸法	添付第3図及び表1のとおり	添付第3図及び表1のとおり	添付第3図及び表1のとおり	添付第3図及び表1のとおり	
付属機器類	pH計2台 ORP計2台	pH計1台 ORP計1台	pH計1台	フィルター プレス スラリーポンプ	
能 力	8m <sup>3</sup> /日	8m <sup>3</sup> /日	12m <sup>3</sup> /日	3m <sup>3</sup> /時	
処理の方式	アルカリ塩素法 (酸化分解)	還元法	凝集沈殿法	压榨脱水法 (全量ろ過)	
工事着手 (予定)年月 日	平成27年 6月1日	同左	同左	同左	
工事完成 (予定)年月 日	平成27年 6月20日	同左	同左	同左	
使用開始 (予定)年月 日	平成27年 7月1日	同左	同左	同左	
使用時間間隔 及び1日あたりの使 用	9時間 8~17時	同左	同左	同左	
季節変動の概 要	なし	なし	なし	なし	
消耗資材の 種類、用途 及び使用量	次亜塩素酸ナ トリウム (12%) 10kg/月 ・ 硫酸 20kg/月 ・ 水酸化ナトリ ウム40kg/月	重亜硫酸ナト リウム(10%) 10kg/月 ・ 硫酸 20kg/月	水酸化ナトリ ウム(10%) 20kg/月  硫酸 5kg/月  凝集剤 30kg/月		<p>・処理施設に使用する消耗資材を記入してください。 資材の内容がわかるよう、なるべくパンフレットやカ タログを添付してください。</p>
そ の 他					<p>・工場又は事業場の配置図の中に、処理施設の設 置場所を明示してください。</p>

(3) 処理施設の設置場所及び配置 添付第(2)図のとおり

処理施設の名称		シアン系	クロム系	酸アルカリ系			
汚水量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	4	4	12	<p>・汚水量(m<sup>3</sup>/日)の「通常」の合計は、7頁(7)のうちの洗浄水の合計と一致させてください。</p> <p>・汚水の系統毎に汚水の量と、処理前後の水質を記入してください。水質欄の項目と処理前の水質は3頁(6)と同じにしてください。</p>		
	最大	5	5	15.5			
pH	処理前	9~10	3~4	3~11			
	処理後	7~8	7~8	6.5~8			
シアン	処理前	90~120		0.1			
	処理後	0.1		0.1			
総クロム	処理前		110~140	0.1~0.2			
	処理後		0.1~0.2	0.1~0.2			
六価クロム	処理前		110~140	0.1			
	処理後		0.1	0.1			
銅	処理前	90~120		30~40			
	処理後			0.3			
トリクロロエチレン	処理前			0~0.1			
	処理後			0~0.1			
ホウ素	処理前			1~2			
	処理後			1~2			
フッ素	処理前		10~15	4~5			
	処理後			4~5			
	処理前						
	処理後						
	処理前						
	処理後						
	処理前						
	処理後						

水質 単位・温度、pHを除きmg/l、ダイオキシン類はpg-TEQ/l

(5) 汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等

第2号様式

残さ等の種類	クロム含有汚泥	濃厚シアン廃液
生成量	200kg/月	400リットル/年
含水率	80%	—
保管方法	袋詰めの上、倉庫に保管	塩ビ製廃液貯槽(1m <sup>3</sup> )に保管
処理・処分 の方法	業者委託	業者委託
処理業者 (許可番号)	運搬：(株)◆◆興業 ＜許可番号＞013-**-***** 中間処理：○×△金属(株) ＜許可番号＞013-**-***** 最終処理：××産業(株) ＜許可番号＞013-**-*****	運搬：○×処理センター ＜許可番号＞013-**-***** 中間・最終処理：○×処理センター ＜許可番号＞013-**-*****

・廃液・汚泥等、排水処理にかかわる廃棄物が発生する場合、その内容を記入してください。  
(廃棄物の例：汚泥、濃厚廃液(シアン、廃酸、脱脂液、剥離液)、イオン交換カートリッジ)

・含水率が未測定の場合、スラリー(未脱水)状ならば98%、脱水されていれば80%と記入してください。

・委託処理を行う場合、運搬・処理業者との契約の内訳が確認できるもの(契約書の写し等)も添付してください。

(6) 施設の施工者

名称	〇〇工業(株)
住所	〇〇区〇〇2-2-2 (××××) ××××

・処理施設の施工者について記入してください。

(7) 使用水量 (m<sup>3</sup>/日)

給水源	用途	原料用水	洗浄用水	冷却用水	生活用水	その他 ( )	合計
上水道			12.5		2.5		15
工業水道			3				3
その他 ( )							
合計			15.5		2.5		18

・使用する水量について、項目毎に記入してください。

・使用水量の合計は水道料金請求書等で確認してください。詳細な内訳量が不明な場合は推定で構いません。また、項目が足りない場合は追記しても構いません。

・洗浄水の合計は3頁及び6頁の通常汚水量の合計と一致します。

・使用水量の合計のうち、原料用水を除いた量は、8頁の排水量(通常)の合計と一致します。

・公共下水道使用開始(変更)届を同時に提出する場合は、合計水量から原料用水を除いた量×稼働日数が月水量に一致します。休業日も生活排水がある場合は、その旨考慮してください。

(8) 用水及び排水の系統 添付第(1)図のとおり

・排水経路平面図(第1図)を参考に、建物又は敷地全体の用水経路及び排水経路を色分けする等してわかりやすく記入してください。

・地下に汚水の貯槽がある場合は、排水処理平面図(第2図)のように明示してください。

排出口番号		1	2			
排出口の名称		公共ます No.1	公共ます No.2	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道へ接続する排出口毎に水量と水質を記入してください。</li> <li>・排出口番号・排出口名称は任意のものとしてください。ただし、事業場平面図のものと同じとしてください。</li> <li>・記入する排水量(通常)の合計は7頁(7)の合計水量と同じにしてください。</li> <li>・記入する水質欄の項目は3頁(6)と同じにしてください。</li> <li>・生活排水しか排出されない公ますは「生活排水のみ」などとし、水質の記入は不要です。</li> </ul> </div>		
排水量 (m <sup>3</sup> / 日)	通常	2	12			
	最大	2.5	15.5			
水質	pH	通常	7~8			
		最大	6~8			
シアン	通常	0.1				
	最大	1以下				
総クロム	通常	0.1~0.2				
	最大	2以下				
六価クロム	通常	0.1				
	最大	0.5以下				
銅	通常	0.3				
	最大	3以下				
トリクロロエチレン	通常	0.05				
	最大	0.1以下				
ホウ素	通常	2				
	最大	10以下				
フッ素	通常	3				
	最大	8以下				
	通常					
	最大					
	通常					
	最大					

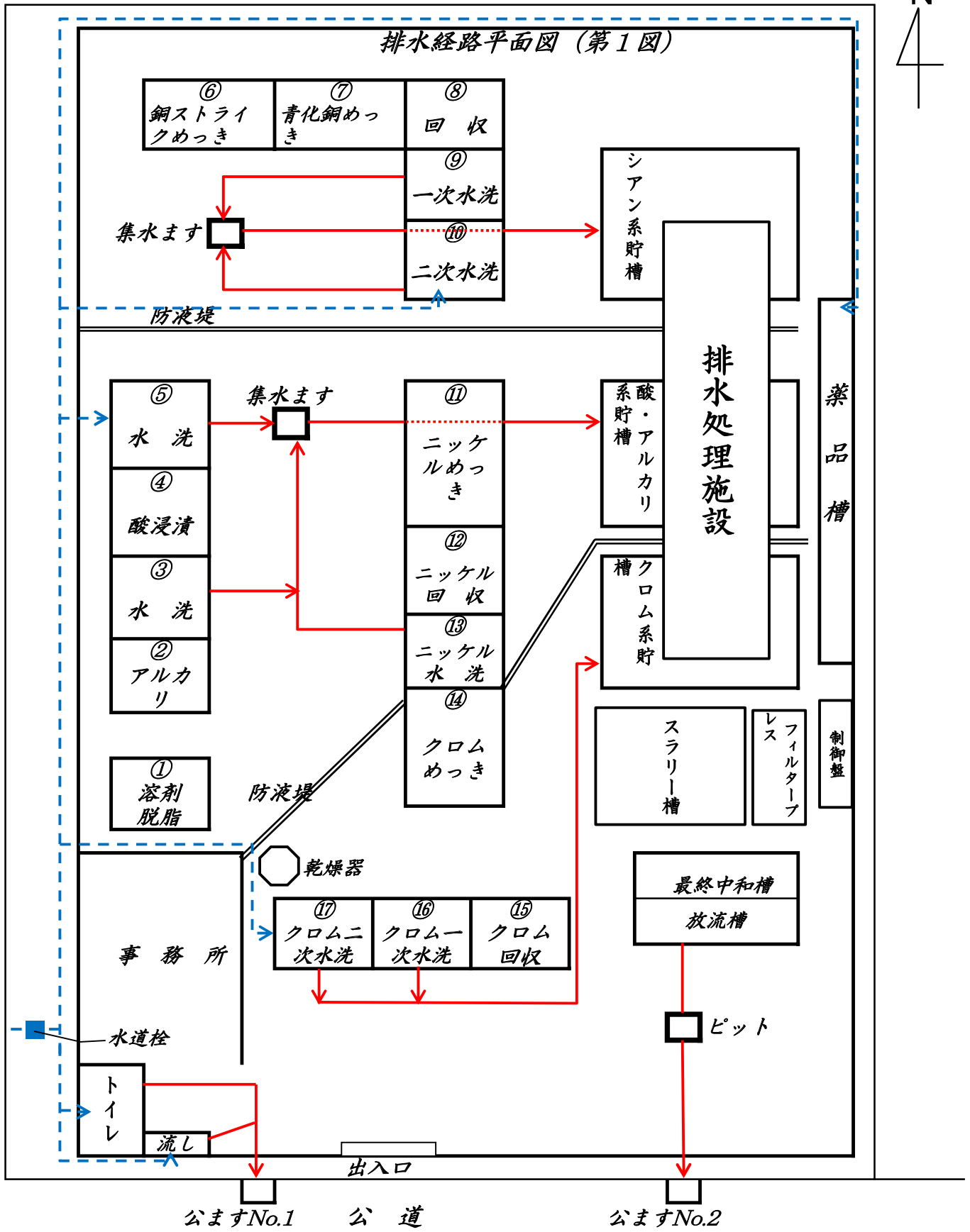
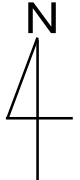
生活排水のみ

単位・温度、pHを除きmg/l、ダイオキシン類はpg-TEQ/l

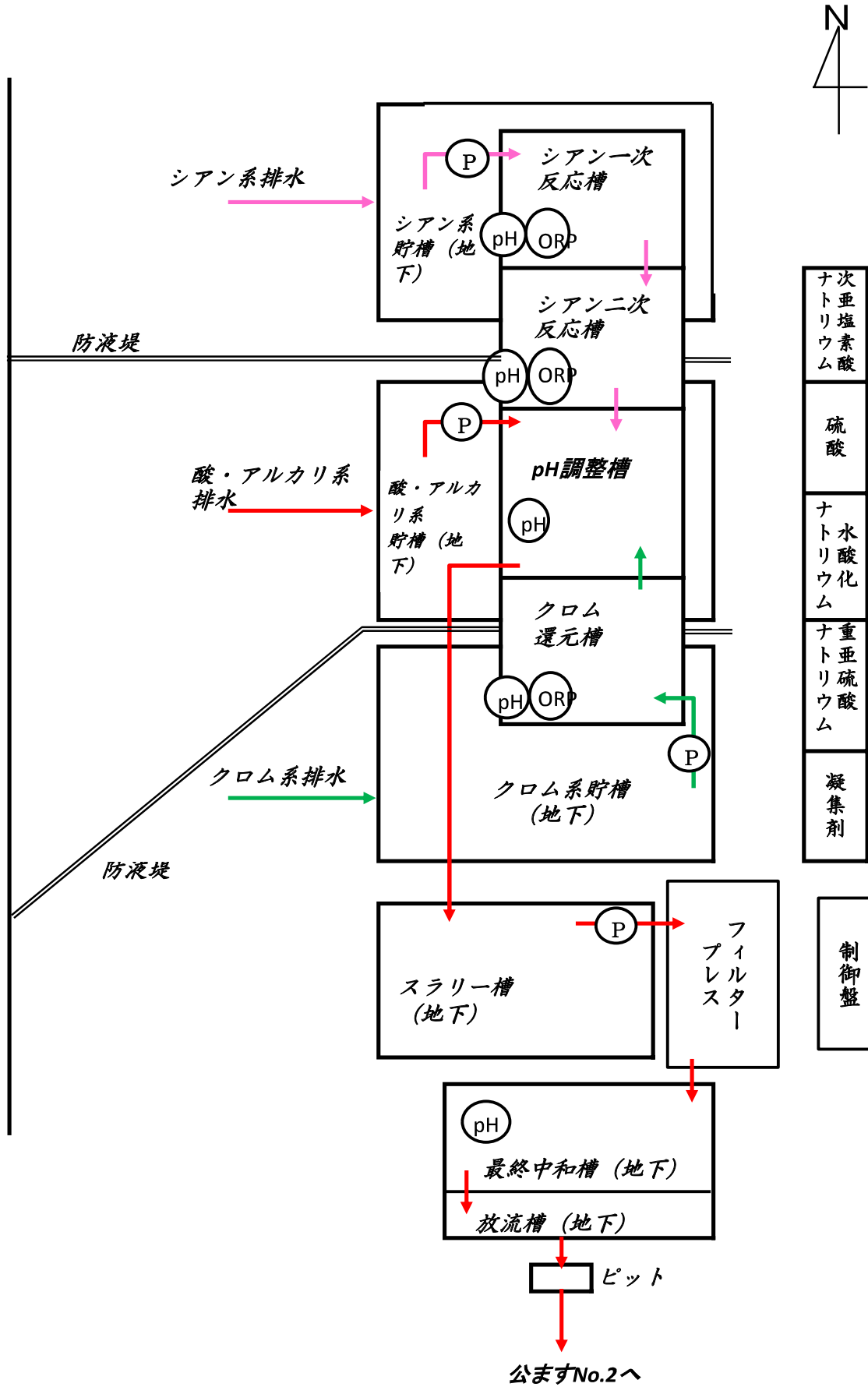
排水経路平面図 (第1図)

用水経路

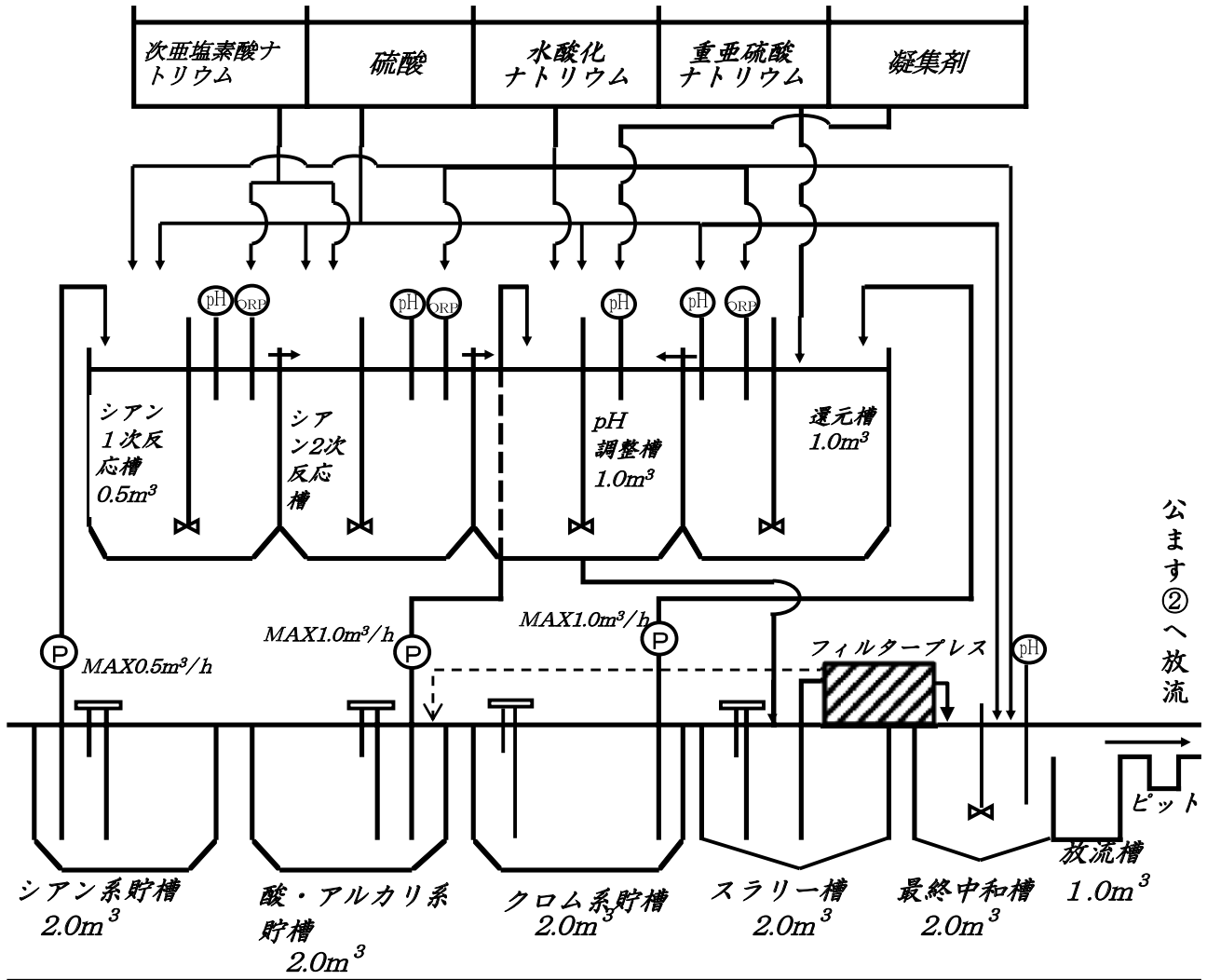
排水経路



排水処理装置平面図 (第2図)



排水処理フローシート (第3図)



各槽の概要

表-1

槽の名称	寸法 幅×奥行×高さ (mm)	有効容量 (m <sup>3</sup> )
薬品各槽 (硫酸、水酸化ナトリウム、次亜塩素酸ナトリウム、重亜硫酸水素ナトリウム、凝集剤)	700×700×800 (各槽同一寸法)	0.3 (各槽同一容量)
シアン1次・2次反応槽	800×800×1000 (各槽同一寸法)	0.5 (各槽同一容量)
凝集反応槽、還元槽	1000×1000×1200	1.0
シアン系貯槽、 クロム系貯槽、 酸・アルカリ系貯槽、 スラッジ槽	1200×1200×1400 (各槽同一寸法)	2.0 (各槽同一容量)
最終中和槽	1500×1500×1200	2.0
放流槽	1000×1000×1200	1.0